年間授業計画

大泉桜高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目　人間と社会

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　人間と社会　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：佐々木直、内田、前澤、南口、阿部愛、井上孝、今井、今村、長澤、榎本

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書 ）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
事前学習	A 事前学習 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。 上記を指導目標とし、以下の項目を事前学習として行う。 ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 自らの生き方を考える 福祉について外部講師による指導 国際ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱについて外部講師による指導 防災について考える 役割と責任を考える	・講義、演習、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、考察、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ﾜｰｸｼｰﾄ、を教材とする。 ・一人1台端末も適宜活用する。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	6
体験グループワーク	B 体験グループワーク 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。 上記を指導目標とし、以下の項目を体験グループワークとして行う。 人間関係を築く 支えあう社会 地域社会を築く 働くことの意義 国際平和を築く お金の意義 ワーク・ライフ・バランス	・講義、演習、実習、個人での活動、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ﾜｰｸｼｰﾄ、自作課題等を教材とする。 ・学校据え置きのPCも使用する。一人1台端末も適宜活用する。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	27
まとめ	C まとめ 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。 上記を指導目標とし、以下の項目をまとめとして行う。 体験グループワークを行って 個人でのまとめ グループでのまとめ 発表 人間と社会を行って	・講義、演習、実習、個人での活動、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ﾜｰｸｼｰﾄ、自作課題等を教材とする。 ・学校据え置きのPCも使用する。一人1台端末も適宜活用する。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	2
						合計	35